

□議員名：恒松 恵子

## 1 小野田駅前都市再生整備計画について

論点	平成28年度に策定された小野田駅前都市再生整備計画の終了が迫っているが現在の進捗状況はどうか。
回答	平成30年度に駅前広場の再整備として舗装のリフレッシュ工事を行うとともに老朽化した街灯を撤去し、LED街灯を2基整備した。 概ね計画通りで、令和2年に入って公園の造成工事と市道2路線の改良工事に着手する。

論点	小野田駅前都市再生整備計画における事業用地の収用状況はどうか。
回答	日の出公園と市道8号線9号線の事業用地について平成29年度から用地交渉を開始し、現在の用地取得率は98%となっている。建物等の移転補償については14名と契約を行い、残る1名と現在交渉中である。

論点	小野田駅前都市再生計画のソフト面の対応として駅前商店街の活性化を図るとあるが、それについての対応はどうか。
回答	まだ事業が継続中であるが、基幹道路が整備されたらいろいろな展開が考えられるので、後継者不足や空き店舗などの諸課題について商工会議所等とともに連携を図り、民間の活力を今後進めていきたい。

論点	小野田駅には南北自由通路の要望が多いが、研究は続けているのか。
回答	実際には進んでいないが、利用方法についてアンケートを取りたい。

## 2 小野田駅周辺の改善・整備および交通手段確保について

論点	悪天候によるJRの運休時、通勤や通学に支障があるが、代替交通手段を市によって確保できないか。
回答	運休で利用者が不便を感じることは承知しているが市としては困難である。並行する路線バスが運行していることもあり複数の公共交通手段を活用してもらいたい。

論点	小野田駅前にはJRの公衆便所しかなく不便である。高千帆公民館も遠いので小野田駅前に公衆便所の設置はできないか。
回答	地元自治会などが管理することを条件に、要望があれば庁内で協議し検討する。

### 3 女性の就労に伴う諸課題について

論点	夜勤を伴う就労や自営業、農業従事者に対して保育園はどのように対応しているのか。
回答	8時間の短時間認定と11時間の標準認定を保護者の就労時間によって認定している。就労証明提出時に短時間認定、標準認定としているが、多忙時や農繁期などは延長保育の利用を各園において柔軟に対応している。

論点	放課後児童クラブについて、支援員不足の課題を保護者の負担を増やすことで解決し、時間延長できないか。
回答	従来からの要望であり課題であると認識しているが、賃金だけでなく支援員の受け手がいないということもあるためこれからの施策を考えていく。

論点	就労中の女性、求職中の女性への支援相談の現状はどうか。
回答	基本的にはハローワークが主体となるが、商工労働課も連携して状況を把握し、就職フェア等を実施している。また再就職支援事業を市の重点施策として行っている。

論点	女性の起業支援に対して本市の取組みはどうか。
回答	商工会議所や金融機関などと連携して相談窓口の設置やセミナーを行い、専門家のアドバイスが受けられる。また、抱える課題について状況把握に努めている。起業家支援資金においては女性の場合、利率の優遇措置で応援している。